

「地域包括ケアのためのプラットフォームづくり～多職種連携にむけて」

高齢者・障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らすための「地域包括ケア」実現のために、医療、看護、介護、福祉の連携が必要とされていますが、そのプラットフォーム（基盤）づくりが近年各方面で取り組まれ始めています。多職種連携や地域づくりの条件は何でしょうか？また、ケアに関わる専門職者、地域住民はどのように動けばいいのでしょうか？先駆的に取り組まれている事例や現状を通して、地域包括ケアに関わる研究課題について明らかにしていきたいと思えます。

日 時：2015年9月5日（土）14：00～17：00
（終了後、懇親会の開催を予定しています）

報告者：西村 勇哉さん（NPO 法人ミラツク代表理事）
野村 裕美さん（同志社大学社会学部准教授）
尾形 治世子さん（堺市中基幹型包括支援センター長）
司会：岡田 忠克（関西大学人間健康学部教授）

場 所：関西大学堺キャンパス A 棟 SA402 教室
（南海高野線「浅香山駅」駅前すぐ）http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hw/access.html

参加費：無料

参加申し込み：okadat@kansai-u.ac.jp（岡田忠克）宛に、①お名前、②ご所属、③懇親会参加の有無をご記入のうえ、2015年8月31日（月）までにお申込みください。